

Web Usability & Accessibility

30 「防災情報」サイト (内閣府)

http://www.bousai.go.jp/

必要性の高いサイトだからこそより高い意識をもって運営を

備えあれば憂いなし。不測の事態への準備はインターネットにも求められる。地震や風水害などの災害情報、防災に関する政府の取り組みを紹介した内閣府の「防災情報のページ」。日常はもとより、災害発生時の情報ソースとして必要性の高いWebサイトだ。防災電子政府の構築に向けた計画が進むなか、濱田・石田両氏が、同サイトを分析してユーザビリティ&アクセシビリティ対策にシビアな判定を下した。

Usability (解説/石田直子)



図1-① 項目が多すぎる。



これは「最新のお知らせ」の項目のひとつ。PDFファイルとなっている。



「THE地震展」のリンクをクリックすると、ポスターの画像ファイルが開く。地震展についての詳しい情報などはテキストで得られない。

報、交通情報など、知りたい情報がたくさんあります。しかし各情報の管轄部署がそれぞれ異なっているため、欲しい情報を得るには気象庁や交通情報などのサイトを巡ったり、ニュースサイトを渡り歩いたりしなければなりません。防災時に知りたい情報を整理し、これを一つにまとめた防災時のポータルサイトとしての役割が求められます。

【迅速な情報提供メディアとして】

Webサイトはポータルであると同時に、迅速に災害情報を伝えるメディアであることが求められます。現状は放送メディアのほうが情報伝達は早いようですが、災害時に一刻を争う状況でも、的確に災害情報を得られるような仕組みを構築してほしいと思います。

【過去の災害のアーカイブ情報】

過去の災害のデータや災害マップなど、災害に関するさまざまな資料が集まっている場所としての役割です。「防災情報のページ」には防災関連の資料が充実しており、アーカイブメディアとしての可能性は持っています。

【現地の生の声を伝えるメディア】

インターネットで市民から集めた声を活用すれば、災害時の地域のピンポイント情報が細かく得られると思います。精度について議論はあるかもしれませんが、現地の生の声を伝えるメディアとして、あらゆる人が取材する立場に立てるのも、インターネットの利点の一つと言えます。

【役に立つ防災情報とは何か】

今回の「防災情報のページ」は、そのタイトルが曖昧である分、どんな情報をどんな時に出すかという役割認識が明確ではないように思えます。防災が実際に起こったときに使うサイトであれば、

緊急時のデータを表示する仕組みが必要です。しかしこうしたスペースは、少なくともトップページには割かれていないようです(図1)。

あるいは過去の災害の様子を調べるサイトであれば、もっとデータを参照、検索しやすいように工夫すべきです。しかし、「最新のお知らせ」「最近の主なトピックス」と似たような項目が大きな面積を占め、それらの見出しは掲載数が多いために目立ちません(図1-①)。また資料は多いのですが、紙やワープロで作ったものをPDFで掲載しているものが多く、利便性や検索性を欠いています(図2・図3)。

—— 評価 ——

サイトの目的が伝わること	★
何かがそのサイトの狙いなのかをトップページで表現します。	
学習しやすさ	★★★
すぐそれを使い始められるように、全体像と次に何をすべきかを伝えています。	
効率性	★★
デザインや構成が統一されていると作業の効率性が上がります。	
記憶しやすさ	★★
上記と同じく、デザインや構成が統一されていると記憶しやすくなります。	
エラーを少なく	★★★
エラーはないほうがよいのですが、避けられないものでもあります。回復方法が明確になるように。	
満足を与える	★
ユーザーにとって楽しかったり、有益であったりというメリットが必要です。	
総合評価	★★★
「防災情報」は災害時などの緊急時に利用されるものもあるので、情報整理を進めて一層のわかりやすさを目指してください。	

インターネットが身近になり、ちょっとしたニュースはすぐにネットで検索できるようになっています。先日やや大きめに感じられる地震があった際に、すぐに各種情報サイトをチェックしてみました。ところが地震情報はなかなかWebには掲載されなかったのに、テレビやラジオなどの放送メディアからは逐一情報が流れてきました。今回は、災害情報についてWebサイトはどのような役割を持つべきかをあわせて考えたいと思います。

【放送メディアとの違い】

テレビやラジオは歴史があるので、災害時の対応や、必要な情報の発表について、ノウハウが蓄積されています。これに対し、インターネットでの災害情報についてはいろいろなサイトで提供されていますが、内容や質がまちまちである感が否めません。

ただし放送メディアは、一過性で一方的なものであるのに対し、インターネットは利用者が手元でじっくりと読むことができ、また双方向に情報をやり取りすることができます。この利点を生かせば有益な防災情報サイトができるでしょう。

【災害情報ポータルサイトの役割】

災害時には、自分やふるさとの地域の災害情



アクセシビリティ分析担当
濱田英雄
(株)ユーディット 主任研究員
hamada@udit-jp.com



ユーザビリティ分析担当
石田直子
(株)ユーディット 研究員
naoko@udit-jp.com

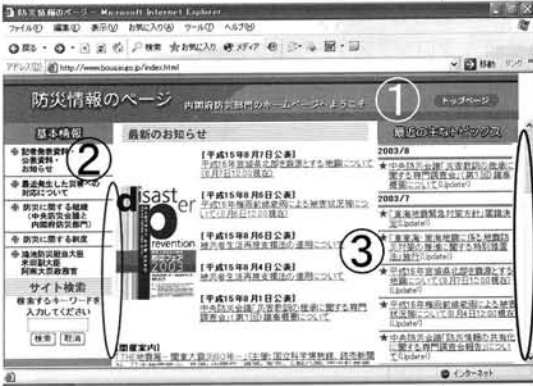
(株)ユーディット

URL <http://www.udit-jp.com>

「情報のユニバーサルデザイン」を目指し、アクセシブルなWebの制作やコンサルティング、高齢者や障害者も利用できるユニバーサルデザインの情報環境、製品の調査などを行っている。

Accessibility (解説/濱田英雄)

図4



防災情報のWebサイトは、人命にも関わる重要な情報もあるので、とくにアクセシビリティに対する配慮が必要だと思われます。

【フレームの使用】(図4)

このサイトは3つのフレームによって構成されていますが、音声ブラウザでは3つのページがあるとして処理しています。しかし、①のフレームにはタイトルとトップページのボタンにもALT属性が入っていないので、リンクボタンのアドレスだけが読み上げられ、意味のない状態になっています。フレームは必要最小限にして、音声でもわかりやすい作りをする必要があります。

【スクロールバーの非表示】(図4)

フレーム③にはスクロールバーが表示されているので、スクロールして下の方を読むことができますが、②ではスクロールバーを非表示にしてあるので、図のように画面の領域を800×600にしてあると、下の方が表示されず、選択できません。スクロールバーの非表示は避けるべきでしょう。

【リンク画像のALT属性】(図4)

②の目次になっている文字画像にALT属性が入っていないので、リンク先のファイル名を読み上げています。リンクする画像には、必ず行き先があるので、リンク先をALT属性に入れましょう。

【テキストリンクの統一】(図5)

このページには、右のようにリンク指定時に表示される下線を消したものと、右のように下線を表示したものが、混在して



います。マウス操作が大変な人もいますので、見た目でもリンクと解釈できるように、サイト内ではリンクの扱いを同じにしましょう。

【PDFへのリンク】(図6)



このページは、●印がついたところがPDFファイルへのリンクになっています。HTMLファイル以外のものにリンクする場合は、事前に知らせるようにしましょう。また、閲覧のためにソフトの入手先などの情報も入れましょう。

【レイアウトテーブルの読み上げ】(図7)



このページの概要図は、レイアウトに表を書くために使われるテーブルを使って、テキストで書かれています。音声ブラウザを意識して、このような作り方をしたのはわかりませんが、これではテキストが読めても、読み上げ順序がバラバラになってしまうので、情報として正しく伝わりません。実際に音声で聞いてみて、正しく情報が伝わるように作成する必要があります。

【情報提供のしかた1】(図8)

このページは画像が1枚張りつけであるだけで、テキストが何もありません。そのため、音声ブラウザでは情報を得られません。例えば円グラフ以外をテキストにして概

略を書くなど、何らかの方法を用いて、音声でも情報が得られるようにする必要があります。

【情報提供のしかた2】(図9)

この表組みは、下のほうで号ごとに区切られていないため、音声ブラウザでは「第5号、第6号…」[「保護施設、児童福祉施設…」]「生活保護法、児童福祉法…」と読まれてしまい、横のつながりが理解しにくくなっています。号ごとに区切りを入れて、わかりやすくする必要があります。

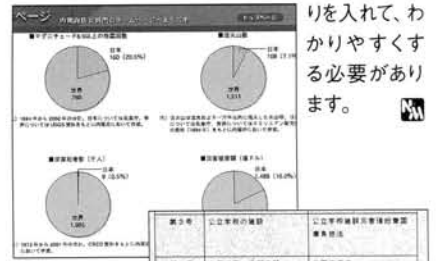


図8

図9

評価

画像にはALT属性をつけること ★★

ALT属性がついていないところがあります。

リンクボタンになっている画像のすべてにALT属性を使ってリンク先を明確にすること ★★

目次など重要な項目に、ALT属性が入っていないものがあります。

日本語のページでは外国語の乱用はせず、誰にでもわかるように配慮すること ★★★★★

問題はないようです。

色によって伝えられる情報は、色がなくても伝わるようにすること ★★★★★

見やすさのために多少の色分けがありますが、とくに問題はないと思います。

HEADにつける<TITLE>は内容がわかるように適切なタイトルをつけること ★★★★★

フレームで見えにくいのですが、同じ<title>が使われているところがあります。

レイアウトのテーブルは、情報が適切に音声ブラウザで読み上げられること ★★

一部、適切に読まれないところがあります。

総合評価 ★★

扱っている情報は重要なので、より高いアクセシビリティを期待します。